

市政ニュース

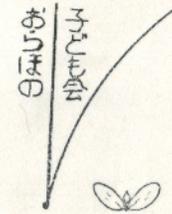
昭和41年3月15日発行 第160号

毎月5、15、25日発行 一部2円

発行所 五所川原市役所

元町子ども会

昭和37年1月、青少年非行防止対策のモデル地区に指定されたのを機会に、青少年の非行防止は、環境の浄化と理解、それに親睦が



大切と認識をあらたにし、元町親交八幡会と名付けた育成会を作り、態勢をととのえ、同年3月には、町内の小中学生150人で元町子ども会（現在の会長斎藤聖）が誕生した。

また、翌年4月には、主婦の方々が、子ども会を守る母の会を作り、子ども会の育成と発展に協力した。

38年夏には、岩木川原に子ども達の遊び場、ついで集会所と町内の奉仕によるものができ、子ども会は、これらの施設を利用し、計画にもとづいて活動しております。そして立派な指導者の養成と発見につとめ子ども達が自主的に会を生かして思うぞんぶんとびまわり、市民性を養えない、新しい時代の要求に元気よくこたえられる人間作りをすすんでいます。

子ども会推進員 山上作之進

半防火用途

地域を指定

住みよい街づくりへ

大火は、三たびくりかえしたくない……これは、みんながのぞんでいることです。
市は、不燃性都市を築き、明るい街をつくらうと、用途地域、準防火地域を指定しました。

当市の現況

当市の発展の現況をみますと、おおむね、つぎのことをいえると思います。
東部は、これまでも自然発生的に農地の宅地化が少しづつ進んでいきましたが、拠点開発により、十万坪の松島団地が造成されてからは、住宅専用地域として急激に発展してきました。
南部は、裏田町線、青森線、弘前線などの主要道路をはさんで、中小修理工場等の進出が、めだつてきております。
北部は、し尿処理場、老人ホーム、児童館等の福祉施設をはじめ、住宅地としても、著しい発展をみせ、金木線の舗装により、工場も進出しはじめ、発展の気

運が高まってきました。

西部は、岩木川原の自然を利用して、市民の憩いの場として、造成されつつあります。

中央部は、ご承知のように、商店街を中心に公共建築物が密集し、ますます過密の度合いを増してきております。

もともと五所川原は、水田のまん中に自然発生的にできあがり、発展してきた町です。

近年、拠点開発方式により、計画的に街づくりを進めておりますが、このままでは、公害のない、住みよい街づくりが円滑に促進できないので、それぞれの地区の発展状況の特性を生かしながら、土地の合理的利用によって、都市環境を整

準防火地域

の必要性

備し、発展を助成するため、用途地域を指定することになったのです。

当市の中心であります商店街は、過去二回の大火をうけ、大きな被害をこうむったことは、みんなが記憶していることと思います。

その後、土地利用度および、建築密度が急激にまじ大火を招く要素が十分あります。

当市は、道路ぞえに木造家屋が密集し、火災が発生するたびに、大火にならないければよいがと、不安な毎日の生活です。

さる一月の三沢市の大火も、木造家屋の密集が、一しゆんのうちに、三百八十棟を焼失するという結果を招いたものです。

私たちも、このような悲惨な目には、あいたくないものです。

したがって、土地を合理的に利用するため、住宅地商店街、準工場地域というように用途地域を指定し、さらに、建物の密集した地域を、準防火地域として防火建築を促進し、明るい街をつくりたいと思います。

用途地域

制度とは

都市には、地勢環境等の立地条件から生まれた姿、いいかえますと、住居地として静かなところ、商業地域として栄えているところまた、工場地帯などがあります。

この特徴を生かし、この後も時代にそつたものとして、育成し、発展させ、明るい健康的な、しかも、活気ある都市にするため、都市計画法は、用途地域その他の地区制を設けて、建築の規制を行なっております。県内では、この用途地域の制度のある都市は、青森市、弘前市、八戸市、十和田市の四市です。

その種類には、住居地域商業地域、工業地域、準工業地域があります。

用途地域の指定により、建築物を規制するのは各地域に順応した、適正な用途の建築物を建てることを目的としたものであります。



人若しい々々

農業後継者激励会

あすの五所川原農業のない手を励ます、農業後継者激励会は、十一日午前十時から、市農林商工課の主催により、市民文化会館でおこなわれた省力栽培という、これらの農業をせおって立つ熱意にもえて集まった百三十人に、市長は「当市農業の発展を期するため、新農業研究所を設けました。みなさんは、これから在村して新しい農業の開発、地域社会の発展に努力してもらいたい。」と激励のことは、来賓者の激励のことばに、佐藤修一君(五農：藻川)は、農業後継者を代表して「私たちのために、このようなことを聞いてくれて感謝いたします。」



これから当地域発展にがんばることを約束します。」と力強いことばがあった。また、矢野五農高校長の記念講演があり、あすへ情熱をもやしていた。

市内学卒業後継者

- △五農高三十八人 △家政高五人 △五所高一一人 △七和高五人 △五商高四人 △五一中四十三人 △栄中九人 △金木南中十三人 △七和中十四人 △中川中二十六人 △三好中二十人 △長橋中二十人 △梅沢中二人 △飯詰中二十七人

おしらせ

長橋財産区選挙
届出は3月29日

長橋地区の財産区(神山野里、松野木、戸沢)議会議員の一般選挙は、四月二日(午前七時～午後六時)おこなわれます。

立候補の受けつけは、三月二十六日から二十九日まで(午前八時三十分～午後五時)まで、また、辞退者も三月二十九日まで、いづれも市選挙管理委員会へ届出ください。

年金の更新手帳
の交付はじまる

五年ごとに更新されることになっている、国民年金の手帳は、このたび、第一

献血・供血のすすめ

市立西北中央病院

血液は、生命に必要な栄養をからだの各部分に配給し、同時に不用のものを体外に、運搬する役目をもつて、血管の中を循環しているもので、身体にとって、もっとも大切なものの一つです。

この働きは、赤血球とよばれ、骨の中で生まれたたぐさんの小さな細胞が、働き蜂のように、たゆまず行っております。また、ひとたび細菌やからだに害のあるものが、体内に入ってくる、これと戦い、身体(いのち)を守る役目をはたしております。これは、白血球が活動するもので、必要な時は、骨の中や、淋巴線(りんばせん)からどんどん作りだされ、力をあわせて戦争するものです。

このような大切な役目を持つている血液ですが、現在のところ、その代用品となるものはありません。血液の不足は、血液そのものを補給しなければなりません。

病気の時には、安静と栄養とくすりが必要なのはだれでも知っており、くすりは、工場で作られますが血液は、みんなのからだから工場で、これにたよるよりないのです。

おとなのからだには、約六リットル(六〇〇〇cc)の血液があり、白血球も、赤血球も、約四〇日から八〇日でその細胞のいのちがなくなるほど、どんどんこわされまた、新しく作りだされるので、少しくらい、他人にかけてあげても、健康なからだではこたえません。

病院では、事故や病気で血を失なって危険な患者に緊急な時は、気の毒な方に血液をあげている人が多数います。それほど、不足している血液です。お金では、作れない、買えない血液です。みんな協力しましょう。

交通事故問題相談所の開設

- ◇相談に応ずる事項
- ①損害補償の手続き
- ②運転免許の取得
- ③交通法規の解説と指導

交通事故問題相談所



- ④交通妨害などの苦情処理
- ⑤その他交通問題
- ◇つぎの事項は相談◇
- ◇に応じません◇
- ①裁判所の確定判決、または、調停、和解調書の内容に反した希望を主張するもの
- ②刑事被疑事件と認められるもの
- ③現に、他の機関で取扱中のもの
- ④その他、相談の目的に適しないと、認められるもの

(五所川原警察署)